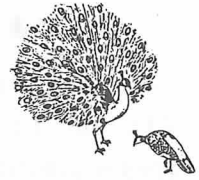


NEWSLETTER



No. 3

日本動物行動学会事務局

日本動物行動学会 第3回大会案内

日本動物行動学会第3回大会は下記の要領で京都府立大学において開催されることになりました。会員の皆様にはふるってご参加下さいますよう、ご案内いたします。詳細は別冊（イエローページ）をご覧ください。

日 時 : 1984年11月11日(日)～13日(火)

会 場 : 京都府立大学

発表形式 : ポスター発表、口頭発表、フィルムスライド・セッション、ラウンド・テーブル

目 次

第3回大会案内	1	学会誌原稿募集について	4
運営委員会議事録から	2	京都市内宿泊所案内	5
総会議事録から	2	会員の異動	6
会 計 報 告	3	第2回大会会計決算	6
国際動物行動学会議について	4	事務局から	6

別 冊 目 次

第3回大会案内	7	スライドの作り方	8
ポスター・セッションについて	8	参加申込書	9

第2回運営委員会議事録から

第2回運営委員会が1983年12月9日(11:00~12:30)、京都大学理学部動物学教室動植会議室において開かれ、下記諸事項に関する討議が行われた。

出席者：日高敏隆(会長)、伊藤嘉昭(副会長)
今福道夫(事務局長)、川道武男、
小原嘉明、城田安幸、杉山幸丸、
(会計報告：藤井恒)

欠席者：朝日稔、伊谷純一郎、西田利貞。

1. 諸報告

事務局会計藤井恒より会員数、会計、第1回大会決算についての報告が行われた。(P3参照)

2. 選挙について

会長、運営委員の選挙を2回に分けずに1回で行う(総会議事録参照)。

3. 別刷代について

現行のものは他誌に比べて価格が著しく異なるので、事務局で調査・検討し、案を作る。

4. 次期大会について

京都で行う。ポスター発表と並行して口頭発表も含める。

5. IEC委員について

1985年、フランス、トゥールーズで開催される第19回国際動物学会議(International Ethological Conference)の委員を日高敏隆、伊藤嘉昭とする。(関連記事P.4) [今福]

第2回総会議事録から

第2回総会が1983年12月10日、京都大学理学部大講義室において、第2回大会会期中に行われた。議長：安部琢哉。運営委員代表：

日高敏隆。

1. 諸報告

学会事務局、石井実(庶務)、藤井恒(会計)より会員数、会計の現況他の報告があった。

2. 会計の承認

藤井恒氏より報告のあった1982-1983年度会計について承認がなされた。

3. 会則、選挙規定の改訂

運営委員会より提出された案に一部変更を加え、下記の形で承認された。¹⁾

選挙規定〔昭和57年12月9日採択〕
〔昭和58年12月10日改訂〕

第1条 会長および運営委員選挙は、選挙管理委員会が管理して行う。

第2条 選挙管理委員長には副会長があたり、若干名の委員を指名する。

第3条 選挙を行う年度までの会費を、その年の6月30日までに納入した会員が、選挙権、被選挙権を有する。

第4条 会長選挙は単記無記名投票、運営委員選挙は10名連記無記名投票により、任期満了まで行う。

第5条 得票数が同じ場合は、年少者を当選とする。

第6条 会長が運営委員としても当選した場合は、運営委員の当選を無効とし、運営委員次点者を繰上げ当選とする。

第7条 当選者に任期中事故があった場合は、次点者が残りの任期を引き継ぐ。

¹⁾ 改訂がなされたのは第4条以下である。

旧選挙規定第4条以下は次のとおり。

第4条 会長選挙は単記無記名投票により、開票は9月末日までに行う。

第5条 運営委員選挙は10名連記無記名投票により、開票は11月末日までに行う。

第5条 得票数が同じ場合は、年少者を当選とする。

第6条 当選者に任期中事故があった場合は、次点者が残りの任期を引き継ぐ。

〔石井〕

1982-3年度 会計報告(決算案)

◎収入

1983年度会費 ¹⁾	2,540,000円
学会誌 Vol. 1. 別刷代	119,800円
郵便貯金利子	25,515円
銀行預金利子	18円
計	2,685,333円

1) 会費収入内分け	
国内一般会員	1,815,000円
(5,000×363)	
学生会員	669,000円
(3,000×223)	
団体会員(8,000×5)	40,000円
海外一般会員(8,000×2)	16,000円

◎支出	
事務費 ²⁾	54,384円
通信費 ³⁾	505,380円
印刷費 ⁴⁾	1,381,390円
会議費 ²⁾	4,799円
計	1,945,953円

2) Newsletter No.1の会計報告で雑費(4,849円)としたものは次のように各々事務費、会議費に繰り込まれました。

事務費(郵便振替口座開設料)	50円
会議費(世話人会お茶菓子代)	4,799円

3) 通信費内分け	
電話代	25,290円
郵送料	480,090円
学会誌	133,170円
(含Newsletter No.2)	
学会誌	別刷 18,440円
準備会ニュースNo.3	25,040円
Newsletter No.1	58,370円
入会案内	42,950円
大会案内(含ハガキ)	23,280円
選挙ハガキ	18,440円
その他(事務・編集)	160,400円

4) 印刷費内分け	
学会誌	760,500円
" 別刷	101,300円
Newsletter No.1	80,520円
" No.2	87,220円
準備会ニュースNo.3	52,650円
趣意書	4,900円
入会案内	21,200円
選挙関係	72,120円
封筒	99,500円
ハガキ	38,920円

発表要旨原稿用紙	7,630円
コピー	54,930円

◎差引残高 739,380円

1982-3年度の学会の会計状況は以上のようになっておりますが、この他に大会の参加費等が学会事務局の口座に振込れた17,000円、また大会用のスタンプ台の立替分3,500円があります。いずれも大会会計へ現金で返却あるいは返却を受けておりますので、表から省かせて頂きました。

1982-3年度の学会会計は表の通り739,380円の黒字となっており、これはそのまま1984年度会計へ繰越されます。しかし、1984年度は学会誌も2回発行されることになっておりますし、学術刊行物の扱いをまだ受けることができませんので、送料等の負担もかなり増えることが予想されます。学会費は前納制となっておりますが、1984年度分の会費納入状況は決して良いとは言えない状態です。会費を遅納されると、そのまま学会会計に影響が及びますので、まだ会費を納入されていない方は至急納入下さいようお願い致します。会費未納の場合は学会誌をお送りできませんので宜しく御協力下さい。

尚、1984年度分会費未納の方には封筒に「会費未納」のスタンプを押しましたが、入れちがいに御納入の場合はお許し下さい。また、コンピューターで処理しておりますので入力ミス等もあるかと存じます。御不審の点がございましたら、学会事務局まで至急御連絡下さい。〔藤井〕

タイトルのイラストは、クジャクの求愛ディスプレイである。求愛するとき、オスは巨大な尾羽をひろげて数歩あとずさりし、くちばしを地面の方へ向ける。すると、メスが走り寄って来て、その扇のような尾羽の“焦点”にあたるあたりをつつく。しかし、そこにはエサなどは存在しない。オスクジャクのこのような求愛ディスプレイは、メスを食事に誘う行動が儀式化したものと考えられている(I)。

第19回 国際動物行動学会議

(19 I. E. C)について

去年のブリスベーン(オーストラリア)に続いて、次回の国際動物行動学会議(19th International Ethological Conference)は、1985年8月24日～9月2日にわたり、フランスのトゥールーズ(Toulouse)で開かれます。First Circularとプログラム案は別紙(挿入ページ)のとおりです。プログラム内容は、だいぶ生理、心理にかたむいているような感じです。

今度は初めてのオープンな会合なので、準備委員会側は大まかの出席者数を知りたがっています。日本からは、おそらく30人以上出席するだろうということはすでに先方に伝えてありますが、出席してみようと思われる方は、別紙Reply formに記入の上"ETHOLOGIE 85"のアドレス宛各自送って下さい。今後のCircularを送ってくるはずですよ。

なお、現在国際動物行動学委員会(International Ethological Committee)の日本委員は、伊藤嘉昭と日高敏隆です。

Journal of Ethology の原稿募集

日本動物行動学会誌Journal of Ethologyは1983年11月に第1巻(合併号)を発行し、現在は第2巻1号の印刷を進めております(本年8月発行予定)。第2巻第2号(12月発行予定)も準備に入っています。

国際誌をめざすJournal of Ethologyは、海外におけるサーキュレーションをよくするため、すでに発行された第1巻をサンプルとして、運営委員・編集委員を通じて海外の著名な研究者に送りました。その結果、ドイツのMax-Planck InstitutやZeitschrift für TierpsychologieのEditor、米国のChicago動物学会、Harvard大学、California大学、Hawaii大学、Lawrence大学などから問い合わせ、あるいはすでに予約購読の申し込みも来ております。また事務局では海外会員をふやすため、国際行動学会の出席者や各国の行動学会会員などに入会案内を送る準備を着々と進めております。

このような状況の中で雑誌を定期的に発行することは、まさに国際誌としての地位を確立するのに欠かすことのできないものです。学会誌の原稿は、そのほとんどが会員の皆様からの原稿によるものです。定期的に雑誌を出すためには会員の皆様の協力がぜひ必要です。

原稿の内容は、すでに発行された第1巻を御覧になればおおよそその見当がつくと思います。動物の行動に関するもので、野外における調査を主としたもの、実験的アプローチによるもの、数理解析的なもの、また特にユニークなアイデアをもち込んだものなどもおおいに歓迎いたします。

皆様の興味深い研究成果の発表の場としてのJournal of Ethologyの論文投稿をお待ちしております。毎巻6月と12月に発行の予定なので、べつのめどは原則としてそのほほ6、7ヶ月前となります。原稿を書くにあたり投稿規定(雑誌の表紙3)を参照して下さい。なお、原稿は論文が受理されるまで保管しておいて下さい。原稿の宛先は、京都市左京区北白川追分町京都大学理学部動物学教室日高敏隆です。〔日高・今福〕

京都市内宿泊所案内

第3回大会が開かれる11月中旬は、京都の紅葉が美しい季節です。紅葉見物の観光客のため、ホテルや旅館が混雑することが予想されます。大会に参加される方は、早目に宿泊所を確保して下さい。参考までに、当方の独断と偏見によりいくつか適当なホテルと共済組合関係宿舎をあげておきますので参考にして下さい。料金は各自お確かめ下さい。

ビジネスホテル(順不同)

宿 泊 所	住 所	TEL 075-
京都プリンスホテル	左京区下鴨松原町	781-4141
京都パレスサイドホテル	上京区烏丸下立売上ル	431-8171
ホテルフジタ	中京区二条大橋西詰	222-1511
京都ガーデンホテル	中京区室町御池南	255-2000
ホテル本能寺会館	中京区河原町御池西	231-3123
京都ホテル	中京区河原町御池	211-5111
烏丸京都ホテル	下京区烏丸四条	371-0111
京都ロイヤルホテル	中京区河原町三条上ル	223-1234
京都レディースホテル	東山区下河原八坂鳥居前	561-3181
嵐山レディースホテル	右京区嵐山	882-0955
京都旅行会館	下京区烏丸四条下ル	211-6101
京都イン加茂川	北区鞍馬口寺町東入ル	256-2681
ホテルリバーサイド	北区北山橋東詰	701-5111
京都トラベラーズイン	左京区岡崎円勝寺町	771-0225
京都ビジネスホテル	中京区木屋町御池	222-1220
サンホテル京都	中京区河原町三条下ル	241-3351
東山三条イン	東山区三条花見小路	751-8090

共済組合関係宿泊所

宿 泊 所	住 所	TEL 075-
くに荘	〒602 京都市上京区河原町荒神口上ル東入ル東桜町27の3	222-0092
平安寮	〒602 京都市上京区烏丸通長者町上ル籠前町598の1	451-0811
京都堀川会館	〒602 京都市上京区東堀川通下長者町下ル7	432-6161
共済会館	〒602 京都市上京区葎屋町通一条上ル明町8-19-3	441-8188
御車会館	〒602 京都市上京区河原町今出川南入一筋目東入	211-5626~8
平安房	〒605 京都市東山区正面茶屋町531	561-8666
加茂川荘	〒604 京都市中京区富小路通り夷川上ル	231-3754
洛陽荘	〒606 京都市左京区岡崎法勝寺町77	771-5634
花のいえ	〒616 京都市右京区嵯峨天竜寺角倉町9	861-1545
京都農林年金会館	〒603 京都市北区衣笠北天神森町21	462-7745~9

新入会員

松尾 貴司	山田 恒夫	山室 一樹
柘元 敏也	宮尾 美穂	鈴木 寛
岩井 洋一	佐久間正幸	加藤 真
金山 行孝	中井 克樹	宮竹 貴久
足立 裕弘	小林 秀司	小谷 達雄
高松 覚	吉田 敦也	瀬戸口美恵子
中道 正之	西尾 香苗	蟻川謙太郎
林 康行	伊藤 明	在津 誠
米田 重玄	押田 龍夫	屋富祖昌子
吉村 仁	宮田 保	吉田 和久
長田 英己	国生 文雄	伊藤 博美
林 幸範	広川 美子	山野井昭雄
湊 和雄	金井塚 務	松井 正文
黒鳥 英俊	山口 梶	古市 剛史
小松 清弘	片野 修	安藤 元一
両角 太郎	沢田 孝二	上畠 完
沢田 昌人	西村 文男	吾妻 直記
細馬 宏通	疋田 努	西平 守孝
Max-Planck Institut	藤岡 知夫	
淀 京太郎	Chicago Zoological	
Society	日高 輝展	

退 会

栗林慧自然科学写真研究所	唐沢 孝一
藤井佐紀子	清水 敏弘
	岡田 愛子

第2回大会決算

大会参加者 290名 (うち
当日参加 148名)

設立大会からの繰越金 77,812円

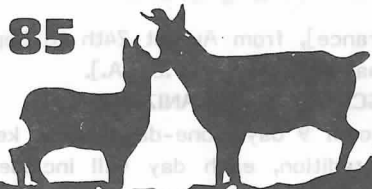
収入	大会参加費 (1,500×290)	435,000円
	大会賛助金 (平凡社)	20,000円
	寄付 (ニューヘルス社)	5,000円
	懇親会費 (一般)	
	(3,500×99)	346,500円
	懇親会費 (学生)	
	(3,000×43)	129,000円
	懇親会費遅納金 (500×37)	18,500円
	講演要旨集 (500×61)	31,000円
	銀行預金利息	585円
	計	1,063,397円
支出	事務費	27,135円
	通信費	79,410円
	印刷費 (プログラム、 講演要旨集等)	214,370円
	会場費	35,205円
	懇親会費	348,000円
	ポスター会場飲料費	186,685円
	(ティーパーティー費を含む)	
	計	890,805円
差引残高 (学会の会計にまわす)		172,592円

第2回大会は290名が参加し、そのうち当日参加者は148名であった。参加者は昨年の第1回大会よりも、37名少なかった程度で規模としてはほとんど同じであった。収入は以上のとおりで一般の懇親会費が500円値上げされ、当日参加者への講演要旨集代が新たに加わったほかは、第1回とほぼ同じであった。支出は懇親会費が昨年より16万円ほど安くついたかわりにポスター会場での飲料費ティーパーティー代が10万円ほど多くかかった。その他会場費が6万円ほど安くついたほかは、昨年に比べ大差なかった。差引残高171,007円は学会の運営に使われることになった。

〔第2回大会会計：岡野英幸〕



ETHOLOGIE 85



19th
international
ethological
conference

université p.sabatier - toulouse - france

Adresse Postale :
UNIVERSITE PAUL SABATIER
Département de
BIOLOGIE DU COMPORTEMENT
118, route de Narbonne
31062 Toulouse CEDEX
FRANCE
Tél. (61) 55.30.01
Telex UNIPSAB 521880 F

24 août - 2 septembre 1985

La 19ème Conférence Internationale d'Ethologie est ouverte à tous les éthologues qualifiés et aux autres chercheurs du domaine des Sciences du Comportement.

Elle se tiendra à Toulouse [France] du 24 août au 2 septembre 1985, sous le patronage scientifique de la Société Française pour l'Etude du Comportement Animal [S.F.E.C.A.].

ORGANISATION SCIENTIFIQUE

Neuf journées de travail effectif sont prévues [une journée d'interruption pourra être consacrée à des activités touristiques].

1] Conformément à une tradition qui a fait ses preuves, chaque journée de travail comprendra une **Séance Plénière**, consacrée à un thème éthologique d'intérêt général [soit de par son actualité, soit du fait de la confrontation de travaux menés suivant des approches plus théoriques ou plus factuelles, ou à des niveaux d'intégration différents].

Le choix des thèmes, comme celui des rapporteurs pressentis, fait actuellement l'objet d'une concertation entre le comité d'organisation, la S.F.E.C.A. et le Comité International d'Ethologie.

Au cours des séances plénières, une part importante sera réservée à la discussion entre les rapporteurs et à la discussion générale.

2] Nous avons prévu un nouveau mode d'organisation des séances de communications **orales** et **affichées** : celles-ci — ainsi que des **discussions en table ronde** — seront regroupées autour de différents sous thèmes, prolongeant les sujets retenus pour les séances plénières. Une discussion générale commune de 2 heures, confiées à un modérateur, permettra de faire le point sur tous ces apports des après-midis.

L'appel à contributions, sous ces différentes formes, sera lancé dans la 2ème circulaire [Mai 1984] laquelle précisera la structuration du programme d'ensemble.

3] Des conférences d'intérêt général seront demandées à des personnalités scientifiques éminentes du domaine de l'éthologie ou de disciplines différentes.

4] Des séances de **présentation de films** sont également prévues au cours de certaines soirées, ainsi que des **tables rondes de discussion** formelles ou improvisées, à l'initiative des participants (voir circulaire n° 2)

LIEU DE LA CONFERENCE

Capitale de la Région "Midi-Pyrénées", Toulouse est la 4ème ville de France par sa population [plus de 500.000 habitants]. Durant la période de la Conférence, elle jouit ordinairement d'un climat chaud, parfois tempéré par les influences océaniques.

Toulouse compte trois universités : l'une à dominante juridique, une autre consacrée aux sciences humaines et sociales, la troisième aux sciences de la nature et aux disciplines de la santé. — C'est sur le Campus de cette dernière — l'Université Paul Sabatier — que se dérouleront toutes les activités scientifiques de la Conférence Internationale d'Ethologie. — Situé à 7 Km du centre de la ville et bien desservi par plusieurs lignes d'autobus, ce campus est très vaste et offre d'importantes possibilités d'hébergement en cités universitaires [chambres individuelles, douches à l'étage]. Des ressources hôtelières très suffisantes existent également soit en ville, soit à 2-3 Km du campus. Les repas de midi pourront être pris sur place.

Les tarifs prévisionnels des différentes possibilités d'hébergement seront mentionnés dans la deuxième circulaire. Y seront précisées aussi les activités sociales et touristiques envisagées. D'ores et déjà une gamme d'excursions est prévue pour la journée de repos. D'autres circuits touristiques pourront être organisés avant le début de la Conférence ou après sa clôture : vers la cité médiévale de Carcassonne, la ville d'Albi et son musée Toulouse-Lautrec, les Pyrénées, la Camargue etc ... ou dans d'autres régions de France.

RECOMMANDATIONS IMPORTANTES

- Vous venez de recevoir une invitation à prendre part à la 19ème Conférence Internationale d'Ethologie.
- Veuillez vous assurer dès à présent que tous vos collègues intéressés ont bien reçu ce document. Ceux qui ne sont pas membres d'une Société d'éthologie doivent demander individuellement une invitation au Secrétaire de leur société nationale ou, à défaut, à l'adresse suivante :

"ETHOLOGIE 85"

Département de Biologie du Comportement,
118 route de Narbonne [4R3]
F-31062 Toulouse-Cedex.

- Comme il s'agit de la première Conférence **ouverte** organisée en Europe, nous ne pouvons faire encore que des estimations très approximatives quant au nombre des participants. Vous nous aiderez donc grandement en nous renvoyant le BULLETIN DE REPONSE ci-joint, manifestant votre intention de participation, **avant la date-limite du 30 avril 1984.**

PROGRAMME

SEANCE PLENIERE I

La formation de l'expérience individuelle

Individual experience, ontogeny and behaviour

- A Génétique
Genetics
- B Ontogénèse et phylogénèse
Ontogeny and phylogeny
- C Expérience prénatale
Prenatal experience
- D Processus d'acquisition
Learning and development
- E Mécanismes ontogénétiques : approches éthologiques et psychologiques
Mechanisms of ontogeny : ethological and psychological approaches

SEANCE PLENIERE II

Comportement et dynamique des populations

Behaviour and the dynamics of populations

- A Différences interindividuelles
Differences between individuals
- B Structure des groupes
Structure of groups
- C Comportement et niche écologique
Behaviour and processus of ecological adaptations

SEANCE PLENIERE III

Individu et société

The individual and the society

- A Division des rôles
Roles
- B Communication
Communication
- C Expérience individuelle et groupes sociaux
Individual experience and the social group
- D Phylogénèse des sociétés animales
The phylogeny of animal societies

SEANCE PLENIERE IV

Ethologie et psychologie humaines

Ethology an human psychology

- A La vie quotidienne
Every day life
- B Le développement de l'enfant
Child development
- C Relations homme-machine
Interrelationships within man-machine systems
- D Etholinguistique
Verbal and non verbal communications
- E Ethologie et Sciences Sociales
Ethology and the Social Sciences

SEANCE PLENIERE V

Oscillateurs biologiques et rythmes comportementaux

Biological oscillators and behavioral rhythms

- A Mécanismes fondamentaux des oscillateurs biologiques
Fundamental mechanisms of biological oscillators
- B Modulations éco-éthologiques des rythmes biologiques
Environmental and behavioral modifications
- C Rythmes physiologiques et rythmes comportementaux
Physiological rhythms and behavioral rhythms

SEANCE PLENIERE VI

Mise en jeu des programmes moteurs de comportements

Control of the motor programs of behaviour

- A Neurochimie
Neurochemical mechanisms
- B Neurophysiologie
Neurophysiological mechanisms
- C Endocrinologie
Endocrinological mechanisms
- D Interface sensori-motrice
Sensory-motor integration

SEANCE PLENIERE VII

Ethologie quantitative et modèles de comportement

Quantitative ethology an models of behaviour

- A Problèmes du recueil et du traitement des données éthologiques
Problems in the collection and analysis of ethological data
- B L'utilisation des modèles en éthologie
Modeling in ethology

SEANCE PLENIERE VIII

Les applications de l'éthologie : bilans et perspectives

The applications of ethology

- A Comportement et gestion de l'environnement
Behaviour and wild life management
- B Applications de l'éthologie aux productions animales
Ethology and animal productions

SEANCE PLENIERE IX

Y-a-t-il des théories éthologiques ?

Le statut de la discipline

Are there theories in ethology?

The status of the field

SEANCES DE COMMUNICATIONS

INDEPENDANTES DES SEANCES PLENIERES

X Orientation dans l'espace Space orientation

Y Aspects cognitifs du comportement animal Animal awareness